

営農技術情報

—畑作（馬鈴しょ③）—

令和元年 7月 8日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～病害虫防除について～

(1) 病害

本年の「FLABS」による疫病の危険期到達日は7月3日で、予測初発日は7月12日から21日となっています（萌芽期は6月5日）。

ほ場ごとで生育進度の差が見られますが、5月上旬に植え付けたほ場では、塊茎肥大期に入っていますので、塊茎腐敗にも効果のある薬剤で防除を行いましょう。

また、今後は降雨等により茎葉が傷つくことで、軟腐病に感染しやすくなります。気温の上昇により発病が助長されますので、疫病と併せて防除を行って下さい。

【疫病の防除薬剤例】（登録内容はR1.7.5日現在）

防除方法	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	浸透性	効果	塊茎腐敗	夏疫病
通常	リライアブルフロアブル	800～1000倍	7日前	3回	〇〇	予治	○	×
	ゾーベックエニケード	5000倍	7日前	2回	○	予治	×	×
	ホライズンドライフロアブル	1000～2500倍	14日前	4回	×〇	予治	×	○
	プロポーズ顆粒水和剤	750～1000倍	7日前	5回	△×	予治	○	○
	フロンサイドSC	1000～2000倍	7日前	4回	×	予	○	○
無人ヘリ	ホライズンドライフロアブル	40倍 (3.2 μ g/10a)	14日前	4回	×〇	予治	×	○

【軟腐病の防除薬剤例】（登録内容はR1.7.5日現在）

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数	効果
スターナ水和剤	カルボン酸	1,000倍	7日前	5回	予治
カスミンボルドー	抗生物質・無機銅	500～800倍	7日前	3回	予治
クプロシールド	無機銅	1,000倍	—	—	予

(2) アブラムシ類

本年は発生が多い傾向です。周辺作物の収穫にともない、ほ場内へ移動してくるおそれがありますので、発生状況に注意し、防除を実施しましょう。

【アブラムシ類の防除薬剤例】（登録内容はR1.7.5時点）

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数	浸透性	効果	残効性	アブラムシ種類		
								ヒゲ	モモ	ワタ
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド	5,000～15,000倍	14日前	2回	○	中	長	○	◎	◎
ウララDF	その他	2,000～4,000倍	7日前	2回	○	遅	長	○	◎	◎
コルト顆粒水和剤	その他	4,000～8,000倍	前日	3回	○	速	長	◎	◎	◎

※1：アブラムシ種類 ヒゲ：ジャガイモヒゲナガ、モモ：モモアカ、◎：優れる、○：有効

※2：抵抗性発現のおそれがあるため、他系統薬剤とのローテーション防除を心がける

※3：「ウララDF」は、吸汁を阻害して衰弱死に至らせるまでに数日かかるが、吸汁阻害は速効的である。

※4：「アドマイヤー顆粒水和剤」はオオニジュウヤホシテントウ（テントウムシダマシ）にも登録あり